

## 青少年インターネット環境整備法改正の概要

スマートフォンやアプリ・公衆無線LAN経由のインターネット接続が普及し、フィルタリング利用率が低迷。こうした状況に対応するため、フィルタリングの利用の促進を図るための法改正を行う。

### 1. 携帯電話インターネット接続役務提供者（携帯ISP）と契約代理店

新規の携帯電話回線契約時及び機種変更・名義変更を伴う携帯電話回線契約の変更・更新時に、下記を義務付け

#### 青少年確認

契約締結者又は携帯電話端末の使用者が18歳未満が確認

#### フィルタリング説明

①青少年有害情報を閲覧するおそれ  
②フィルタリングの必要性・内容を保護者又は青少年に対し、説明

#### フィルタリング有効化措置

契約とセットで販売される携帯電話端末等について、販売時にフィルタリングソフトウェアやOSの設定を行う。

※ フィルタリング義務の対象機器を携帯電話端末だけでなく携帯電話回線を利用してインターネットを閲覧できる機器に拡大

### 2. 携帯電話端末・PHS製造事業者

フィルタリングソフトウェアのプリインストール等  
フィルタリング容易化措置を義務付け

### 3. OS開発事業者

フィルタリング有効化措置・フィルタリング容易化措置  
を円滑に行えるようOSを開発する努力義務

施行期日：公布の日から起算して1年を超えない範囲内において政令で定める日





政府統計

# 平成29年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）

平成30年2月

内閣府



## 1. 調査目的

平成21年度～平成28年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」(いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。)の施行状況のフォローアップのための基礎データを取得することを目的として実施。

## 2. 調査設計

- (1) 方法：①青少年調査 原則として、調査員による個別面接聴取法で調査を実施。  
ただし、調査協力を得られたものの訪問時間等が合わない場合には、WEB調査法を併用。  
②保護者調査 原則として、調査員による訪問配布訪問回収法で調査を実施。  
ただし、調査協力を得られたもの訪問時間等が合わない場合は、WEB調査法及び郵送回収法を併用。
- (2) 対象：①青少年調査 満10歳から満17歳までの青少年(5,000人) ②保護者調査 左記青少年の同居の保護者(5,000人)
- (3) 調査内容：青少年調査 スマートフォン、いわゆる格安スマートフォンや子供向けスマートフォン、機能限定スマートフォン、携帯電話の契約が切れたスマートフォン、携帯電話、機能限定携帯電話や子供向け携帯電話、ノートパソコン、デスクトップパソコン、タブレット、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレット、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビの15機器。  
②保護者調査 青少年調査の15機器から、機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン、機能限定携帯電話や子供向け携帯電話、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレットを除いた11機器。
- (4) 期間：平成29年11月3日～12月3日
- (5) 回収結果：①青少年調査 3,288人(65.8%)  
・調査員による個別面接聴取法 3,166人(63.3%)  
・WEB調査法 122人(2.4%)  
②保護者調査 3,469人(69.4%)  
・調査員による訪問配布訪問回収法 3,399人(68.0%)  
・WEB調査法 44人(0.9%)  
・郵送回収法 26人(0.5%)

## 3. 企画分析会議

有識者(※五十音順)

生田 倫子(神奈川県立保健福祉大学 准教授)	子(神奈川県立保健福祉大学 准教授)
圃分 明男(一般財団法人インターネット協会 副理事長)	男(一般財団法人インターネット協会 副理事長)
小豆川 裕子(常葉大学 准教授/株式会社NTTデータ経営研究所 客員研究員)	子(常葉大学 准教授/株式会社NTTデータ経営研究所 客員研究員)
西田 光昭(柏市教育委員会 教育専門アドバイザー)	昭(柏市教育委員会 教育専門アドバイザー)
藤川 大祐(千葉大学教育学部 教授)	祐(千葉大学教育学部 教授)

## 4. 備考

- ・「機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン」は、以下、「子供向けスマートフォン」という。
- ・「機能限定携帯電話や子供向け携帯電話」は、以下、「子供向け携帯電話」という。
- ・調査結果は、四捨五入しているため、内訳の合計値が計に一致しない場合がある。
- ・本調査では在学中ではない人も含むため、青少年調査では「小学生」、「中学生」、「高校生」の合計値が「総数」に一致しない。
- ・「保護者」、「中学生の保護者」、「高校生の保護者」の合計値が「総数」に一致しない。
- ・分析軸の該当者が50人未満のクロス集計については、標本誤差が大きくなるため、あくまで参考にとどめるなど、特に留意が必要。
- ・青少年調査の結果は、「調査員による個別面接聴取法」及び「WEB調査法」を合算し、保護者調査の結果は、「調査員による訪問配布訪問回収法」、「WEB調査法」及び「郵送回収法」を合算したものである。

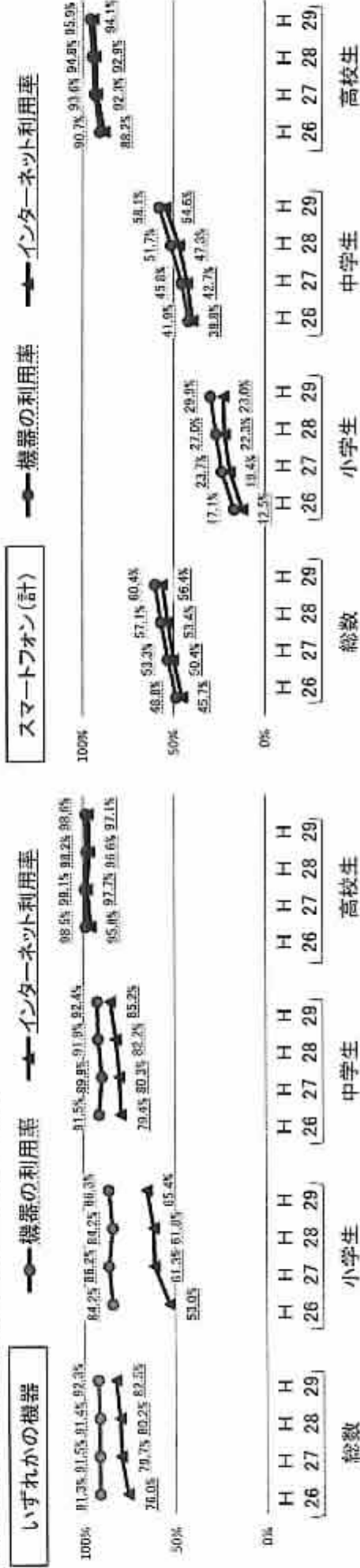
# ポイント1 青少年のインターネットの利用状況-1 (機器・インターネット利用率)

- 青少年の82.5%が、いずれかの機器でインターネットを利用。
- インターネットを利用する機器は、スマートフォン(50.0%)、タブレット(24.8%)、携帯ゲーム機(24.5%)、ノートパソコン(14.6%)が上位。
- 中学生のスマートフォン利用の普及が進む。

各機器の青少年の利用率(平成29年度)

	いずれかの機器	スマートフォン	いわゆる格安スマートフォン	子供向けスマートフォン	契約切れスマートフォン	携帯電話	子供向け携帯電話	ノートパソコン
機器の利用率	92.3%	51.6%	3.6%	3.3%	4.0%	4.5%	9.7%	15.7%
インターネット利用率	82.5%	50.0%	3.2%	1.4%	3.1%	1.5%	1.6%	14.6%
機器の利用率	デスクトップパソコン	タブレット	学習用タブレット	子供向け娯楽用タブレット	携帯音楽プレイヤー	携帯ゲーム機	据置型ゲーム機	インターネット接続テレビ
機器の利用率	6.4%	26.8%	4.9%	0.2%	15.5%	39.2%	17.6%	5.5%
インターネット利用率	6.0%	24.8%	3.3%	0.1%	6.1%	24.5%	10.9%	4.0%

利用率の経年比較(平成26年度～平成29年度)



(注1) 回答した青少年全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。

平成29年度：総数(n=3288) 小学生(n=1016) 中学生(n=1309) 高校生(n=942)  
 平成27年度：総数(n=3442) 小学生(n=1060) 中学生(n=1349) 高校生(n=1018)

(注2) 「いずれかの機器」とは、青少年に対して調査した15機器。

(注3) 「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した青少年。

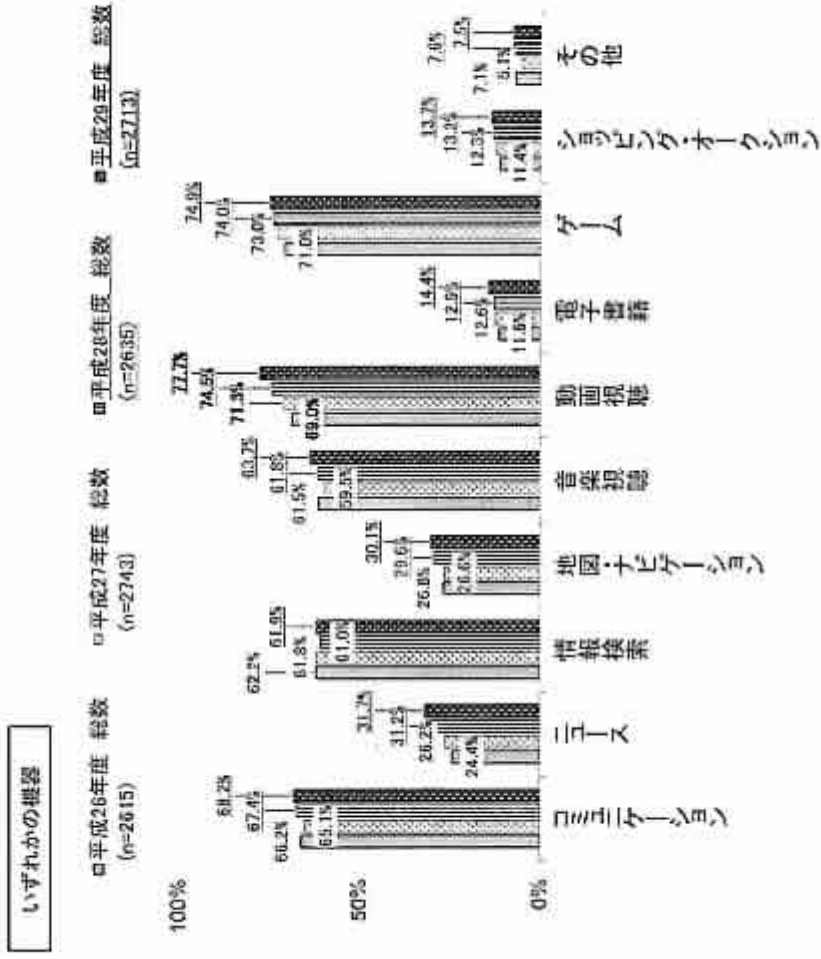
## ポイント2 青少年のインターネットの利用状況-2 (利用内容)

- 青少年のインターネットの利用内容は、高校生では、**コミュニケーション**(89.8%)、**動画視聴**(84.9%)、**音楽視聴**(83.3%)が上位。  
中学生では、**動画視聴**(80.3%)、**ゲーム**(73.5%)、**コミュニケーション**(70.4%)が上位。  
小学生では、**ゲーム**(77.9%)、**動画視聴**(63.6%)が上位。
- 利用内容を経年で比較すると、動画視聴が平成26年から連続して増加傾向。

青少年のインターネットの利用内容(平成29年度)

いずれかの機器	利用内容										
	コミュニケーション	ニュース	情報検索	地図・ナビゲーション	音楽視聴	動画視聴	電子書籍	ゲーム	オークション	その他	
総数 (n=2713)	68.2%	31.7%	61.9%	30.1%	63.7%	77.7%	14.4%	74.9%	13.7%	7.5%	
小 (n=864)	34.3%	9.3%	38.0%	5.6%	33.1%	63.6%	4.8%	77.9%	2.6%	9.2%	
中 (n=1115)	70.4%	30.7%	61.9%	23.9%	65.7%	80.3%	14.6%	73.5%	9.4%	7.1%	
高 (n=915)	89.8%	49.0%	78.9%	54.9%	83.3%	84.9%	21.1%	74.8%	27.1%	6.6%	
総数 (n=1644)	83.9%	38.6%	67.0%	40.7%	71.5%	78.8%	15.5%	72.1%	17.3%	1.8%	
小 (n=177)	46.9%	9.0%	38.4%	7.9%	31.1%	59.9%	4.0%	76.8%	0.6%	1.7%	
中 (n=600)	84.5%	34.2%	61.8%	29.9%	69.1%	77.6%	13.2%	69.7%	9.2%	1.5%	
高 (n=842)	91.1%	47.7%	76.7%	54.9%	81.6%	83.6%	19.5%	72.9%	26.7%	2.0%	

利用内容の経年比較(平成26年度～平成29年度)

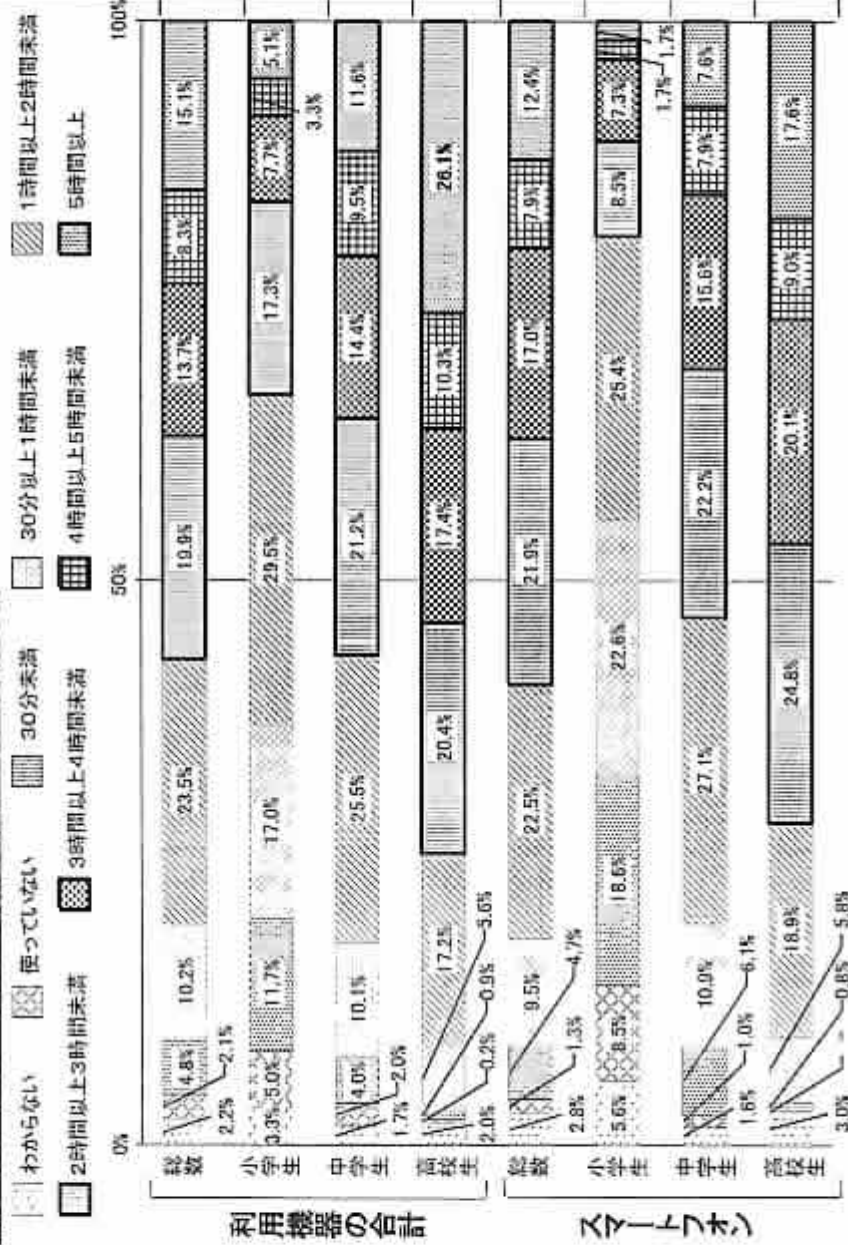


(注) 「いづれかの機器」については、青少年に対して調査した15機器のうち、いづれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年。 「スマートフォン」については、「スマートフォン」でインターネットを利用している青少年をベースに集計。

# ポイント3 青少年のインターネットの利用状況 -3 (利用時間)

○ 青少年のインターネット利用時間は、今年度は前年度と比べ約5分増加。平均利用時間は約159分。  
 ○ 学校種が上がるともに長時間傾向。高校生では、26.1%が利用機器の合計で5時間以上インターネットを利用。

青少年のインターネットの利用時間(平日1日あたり)



平成29年度	平成28年度		平成27年度		平成26年度		
	平均利用時間	2時間以上の割合	平均利用時間	2時間以上の割合	平均利用時間	2時間以上の割合	
159.3分	57.0%	154.3分	56.3%	141.8分	50.5%	142.6分	49.0%
97.3分	33.4%	93.4分	32.5%	84.8分	27.2%	83.3分	24.1%
148.7分	56.7%	138.3分	51.7%	127.3分	46.1%	130.2分	47.4%
213.8分	74.2%	207.3分	76.7%	192.4分	70.3%	185.1分	67.3%
148.4分	59.2%	145.8分	60.7%	136.0分	56.0%	140.7分	56.0%
68.3分	19.2%	69.7分	24.8%	63.3分	17.4%	63.0分	18.4%
127.5分	53.3%	124.2分	52.1%	118.3分	48.1%	123.4分	49.3%
177.7分	71.5%	170.3分	72.1%	157.7分	68.8%	154.6分	63.3%

(注1) 「利用機器の合計」については、青少年に対して調査した16機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用してしていると回答した青少年をベースに集計。

平成29年度：総数(n=2713) 小学生(n=1115) 中学生(n=915) 高校生(n=683) 小学生(n=625) 中学生(n=1051) 高校生(n=953)  
 平成27年度：総数(n=2743) 小学生(n=1083) 高校生(n=995) 平成28年度：総数(n=2635) 小学生(n=625) 中学生(n=1055) 高校生(n=965)

(注2) 「スマートフォン」については、「スマートフォン」でインターネットを利用してしていると回答した青少年をベースに集計。

平成29年度：総数(n=1644) 小学生(n=177) 中学生(n=608) 高校生(n=842) 平成28年度：総数(n=1549) 小学生(n=167) 中学生(n=509) 高校生(n=878)  
 平成27年度：総数(n=1589) 小学生(n=155) 中学生(n=507) 高校生(n=814) 平成26年度：総数(n=1475) 小学生(n=98) 中学生(n=683) 高校生(n=874)

(注3) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」を除いて平均値を算出。(注4) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者が利用している各機器の利用時間を合算したものである。

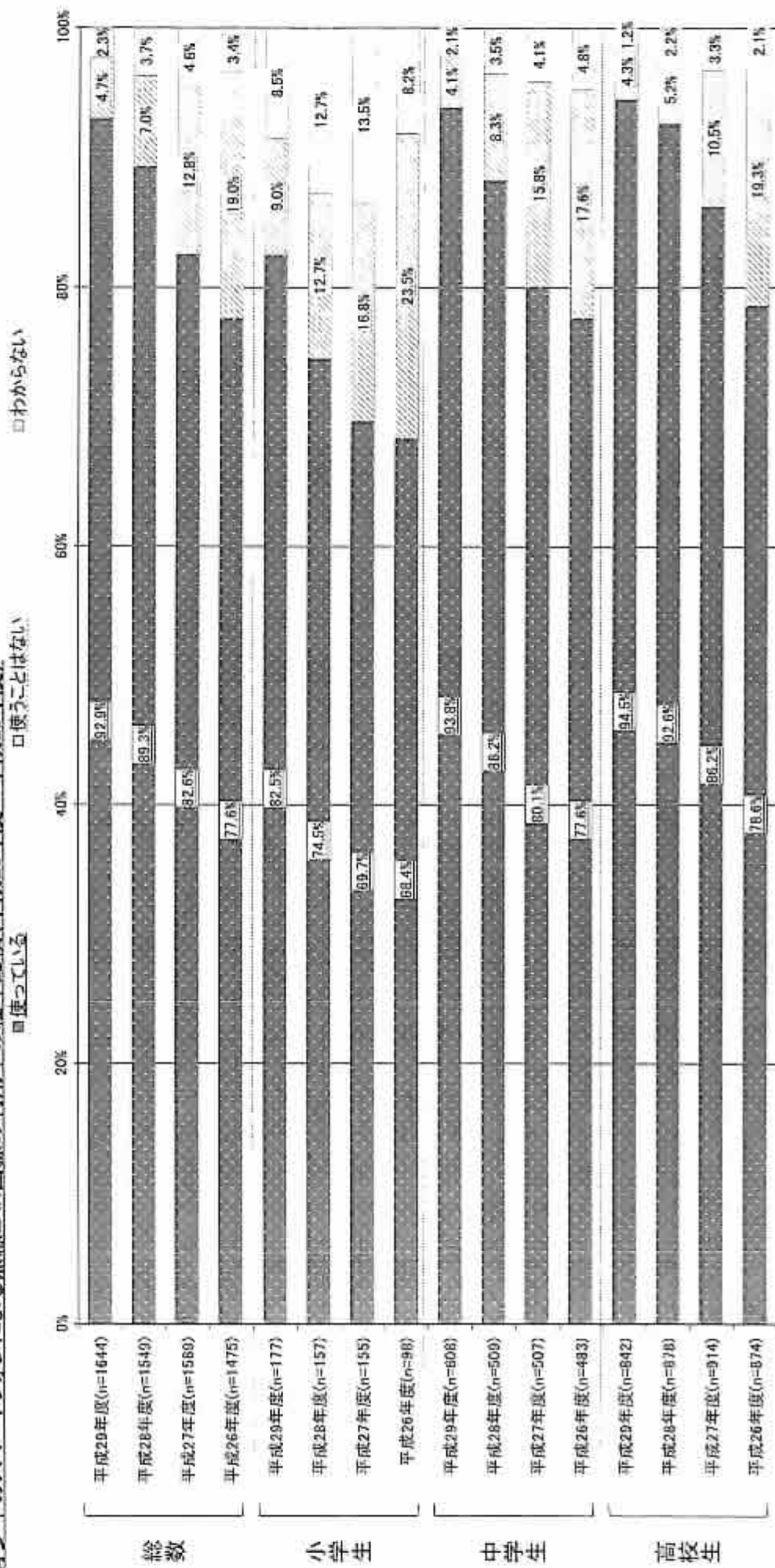
(青少年調査Q4)



# ポイント4 青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用状況

○青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用率は、前年度に比べ増加。

青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用率の経年比較(平成26年度～平成29年度)



(注) 「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

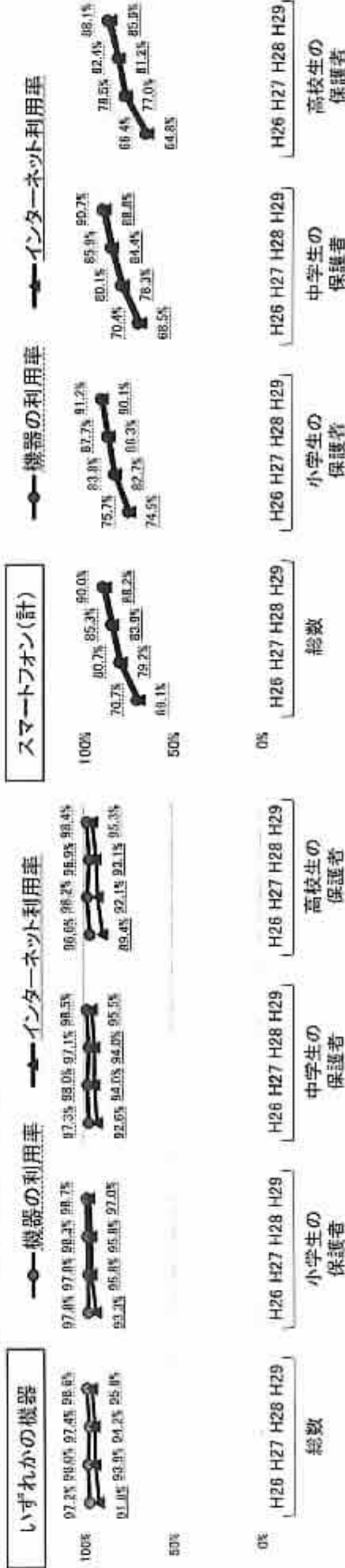
# ポイント5 保護者のインターネットの利用状況-1 (機器・インターネット利用率)

- 保護者の95.8%が、いずれかの機器でインターネットを利用。
- インターネットを利用する機器は、スマートフォン(83.1%)、ノートパソコン(43.9%)、タブレット(29.8%)が上位。
- 前年度に引き続き、スマートフォンの普及が進む。

各機器の保護者の利用率(平成29年度)

機器の利用率	いずれかの機器	スマートフォン	格安スマートフォン	いわゆるスマートフォン	契約切れスマートフォン	携帯電話	ノートパソコン
機器の利用率	98.6%	84.8%	5.6%	5.9%	12.7%	47.8%	
インターネット利用率	95.8%	83.1%	5.4%	4.2%	5.4%	43.9%	
機器の利用率	デスクトップパソコン	20.1%	6.9%	8.3%	8.7%	12.6%	
インターネット利用率	18.8%	2.2%	4.5%	5.6%	7.1%		

利用率の経年比較(平成26年度～平成29年度)



(注1) 回答した保護者全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。

平成29年度: 総数(n=3469) 小学生の保護者(n=1027) 中学生の保護者(n=1369) 高校生の保護者(n=1054) 平成28年度: 総数(n=3541) 小学生の保護者(n=1031) 中学生の保護者(n=1351) 高校生の保護者(n=1145)  
 平成27年度: 総数(n=3641) 小学生の保護者(n=1077) 中学生の保護者(n=1412) 高校生の保護者(n=1128) 平成26年度: 総数(n=3637) 小学生の保護者(n=1092) 中学生の保護者(n=1387) 高校生の保護者(n=1132)

(注2) 「いずれかの機器」とは、保護者に対して調査した11機器。

(注3) 「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「いわゆる格安スマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した保護者。

(保護者調査Q1・2)

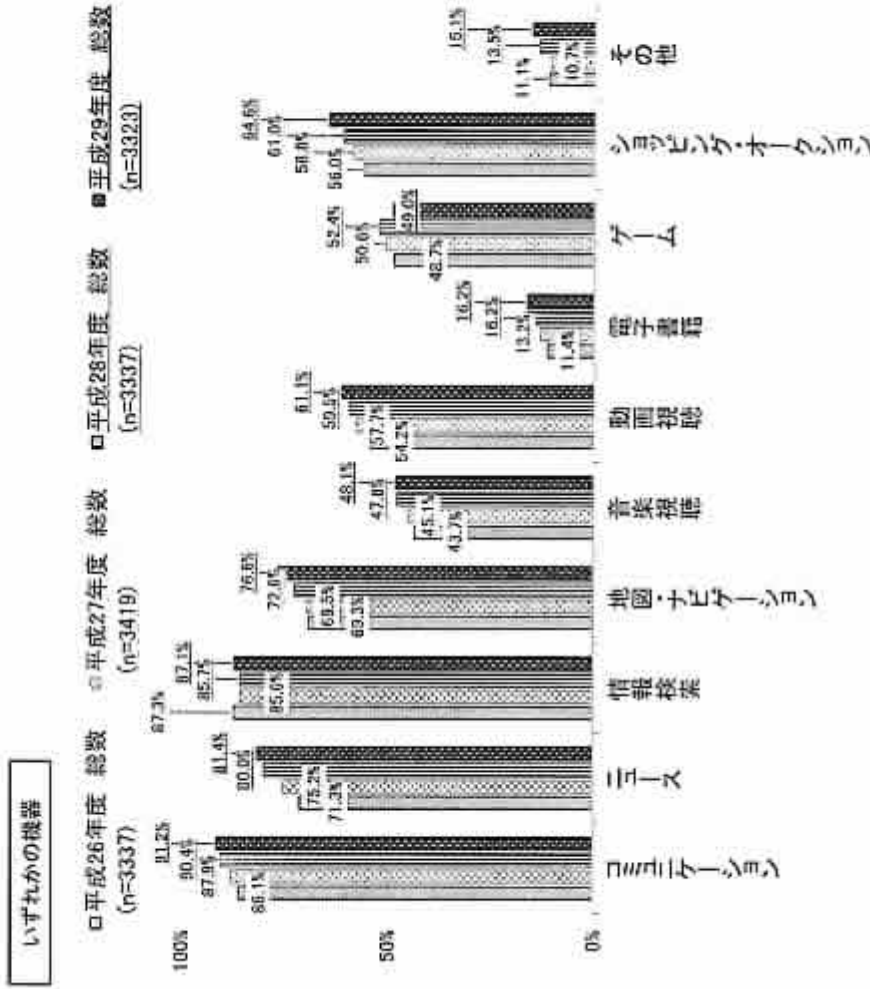
# ポイント6 保護者のインターネットの利用状況-2 (利用内容)

- 保護者のインターネットの利用内容は、コミュニケーション(91.2%)、情報検索(87.1%)が上位。
- ゲーム、ショッピング・オークションの利用は、学校種が下の保護者ほど多い。
- 利用内容を経年で比較すると、ゲームの利用が減少、電子書籍の利用が増加傾向。

保護者のインターネットの利用内容(平成29年度)

利用内容	いずれかの機器			
	総数 (n=3323)	小・保 (n=996)	中・保 (n=1308)	高・保 (n=1004)
コミュニケーション	91.2%	92.0%	91.7%	90.1%
ニュース	81.4%	83.5%	81.3%	79.4%
情報検索	87.1%	88.3%	87.3%	85.8%
地図・ナビゲーション	76.6%	76.7%	78.4%	74.0%
音楽視聴	48.1%	48.9%	48.9%	46.4%
動画視聴	61.1%	64.2%	62.0%	57.4%
電子書籍	16.2%	18.8%	15.3%	14.8%
ゲーム	49.0%	55.4%	47.9%	44.1%
ショッピング・オークション	64.6%	68.5%	64.7%	60.9%
その他	15.1%	16.0%	15.6%	13.8%

利用内容の経年比較(平成26年～平成29年度)

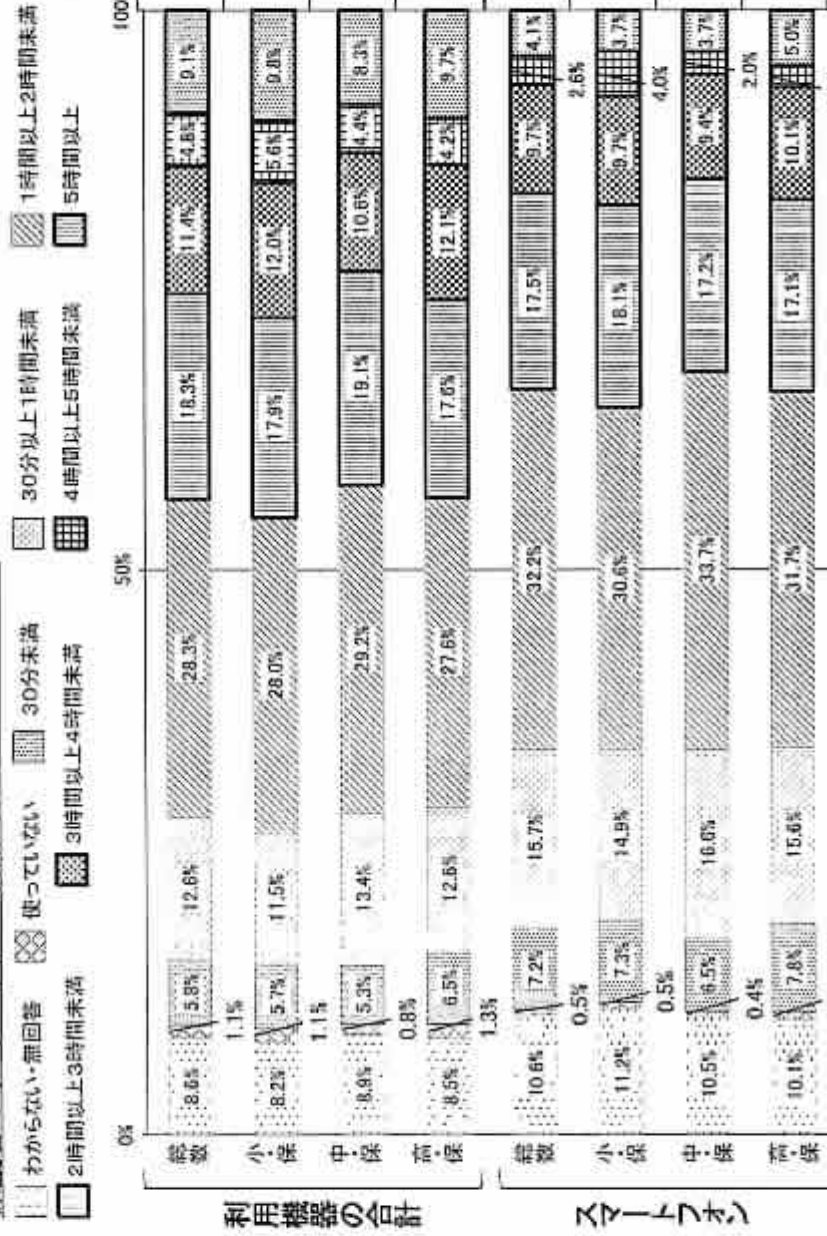


(注) 「いずれかの機器」については、保護者に対して調査した11機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

# ポイント7 保護者のインターネットネットワークの利用状況-3 (利用時間)

- 保護者のインターネット利用時間は前年度と比べほぼ横ばい。平均利用時間は約136分。
- 43.7%の保護者が利用機器の合計で2時間以上インターネットを利用。

保護者のインターネットネットワークの利用時間(平日1日あたり)



(注1) 「利用機器の合計」については、保護者に対して調査した11機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

平成29年度: 総数(n=3323) 小学生の保護者(n=996) 中学生の保護者(n=1308) 高校生の保護者(n=1004) 平成28年度: 総数(n=3337) 小学生の保護者(n=988) 中学生の保護者(n=1270) 高校生の保護者(n=1066)  
 平成27年度: 総数(n=3419) 小学生の保護者(n=1032) 中学生の保護者(n=1327) 高校生の保護者(n=1039) 平成26年度: 総数(n=3337) 小学生の保護者(n=1019) 中学生の保護者(n=1285) 高校生の保護者(n=1012)

(注2) 「スマートフォン」については、「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

平成29年度: 総数(n=2883) 小学生の保護者(n=873) 中学生の保護者(n=1137) 高校生の保護者(n=880) 平成28年度: 総数(n=2835) 小学生の保護者(n=847) 中学生の保護者(n=1081) 高校生の保護者(n=867)  
 平成27年度: 総数(n=2819) 小学生の保護者(n=871) 中学生の保護者(n=1083) 高校生の保護者(n=848) 平成26年度: 総数(n=2476) 小学生の保護者(n=806) 中学生の保護者(n=935) 高校生の保護者(n=718)

(注3) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない・無回答」を除いて平均値を算出。(注4) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者が利用している各機器の利用時間を合算したものである。(保護者調査Q4)

# ポイント8 保護者のインターネットを安全・安心に使うための注意点の認知

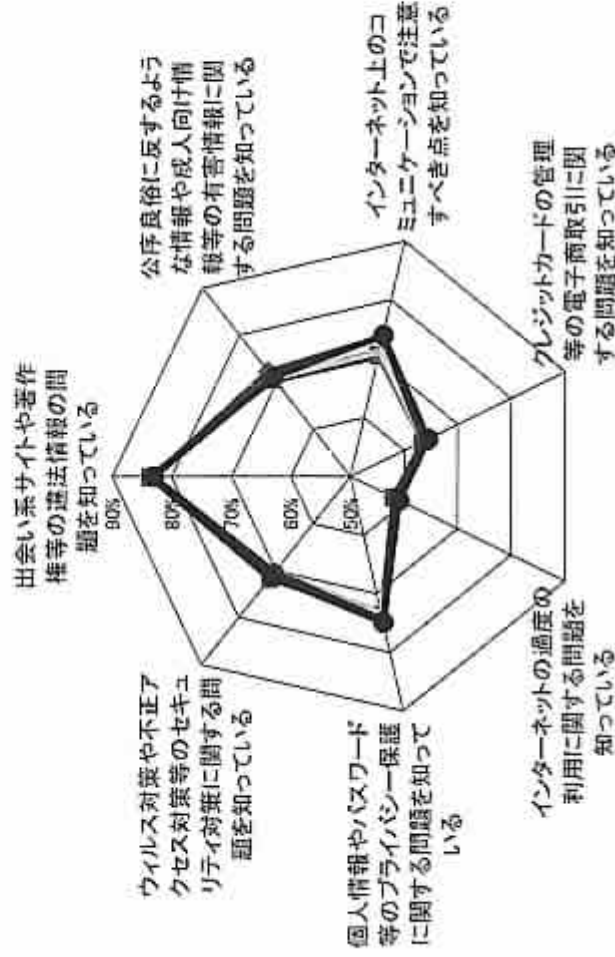
- 保護者のインターネットを安全・安心に使うための注意点の認知は、「出会い系サイトや著作権等の違法情報の問題を知っている」(83.0%) については高く、「インターネットの過度の利用に関する問題を知っている」(59.0%)、「クレジットカードの管理等の電子商取引に関する問題を知っている」(64.3%)は相対的に低い。
- 傾向は前年度と変わらない。

保護者の注意点の認知(平成29年度)

	総数 (n=3469)	小・保 (n=1027)	中・保 (n=1369)	高・保 (n=1054)
出会い系サイトや著作権等の違法情報の問題を知っている	83.0%	83.5%	83.3%	82.4%
公序良俗に反するような情報や成人向け情報等の有害情報に関する問題を知っている	71.0%	71.4%	71.5%	70.3%
インターネット上のコミュニケーションで注意すべき点を知っている	74.0%	74.7%	76.0%	71.5%
クレジットカードの管理等の電子商取引に関する問題を知っている	64.3%	64.8%	64.1%	64.8%
インターネットの過度の利用に関する問題を知っている	59.0%	58.2%	61.4%	57.0%
個人情報やパスワード等のプライバシー保護に関する問題を知っている	74.9%	74.8%	75.1%	75.0%
ウイルス対策や不正アクセス対策に関する問題を知っている	71.2%	72.7%	70.4%	71.2%
いずれも知らない・無回答	6.1%	6.2%	5.6%	6.5%

注意点の認知の経年比較(平成26年度～平成29年度)

平成26年度 (n=3637)    平成27年度 (n=3641)    平成28年度 (n=3541)    平成29年度 (n=3469)



(注) 回答した保護者全員をベースに集計。

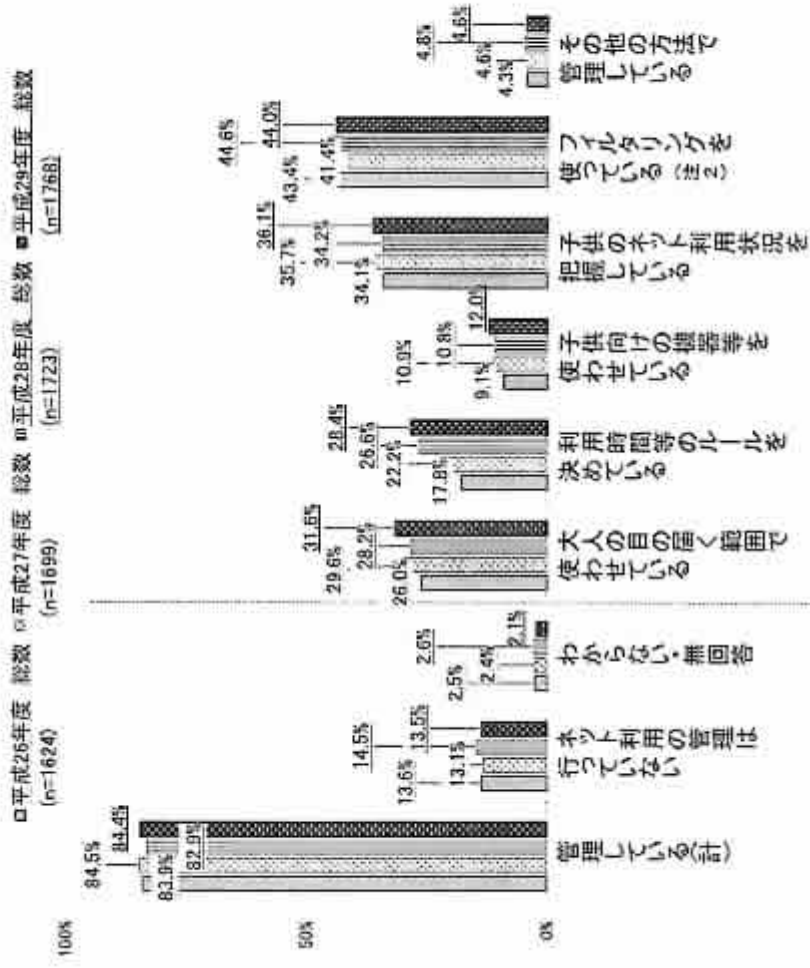
# ポイント9 青少年のインターネット利用に関する保護者の取組（スマートフォン）

- 青少年がスマートフォンを利用する保護者のうち、84.4%がいずれかの方法で青少年のインターネット利用に関する取組を実施。
- 実施している取組は、前年度と同様に、「フィルタリングを使っている」(44.0%)、「子供のネット利用状況を把握している」(36.1%)が上位。

スマートフォンにおける保護者の取組(平成29年度)

	管理している(計)	ネット利用の管理は行っていない	わからない・無回答	使わせている	大人の目の届く範囲で使わせている	利用時間等のルールを決めている	子供向けの機器等を使わせている	子供のネット利用状況を把握している	フィルタリングを使っている(まご)	その他の方法で管理している
総数 (n=1768)	84.4%	13.5%	2.1%	31.6%	28.4%	12.0%	36.1%	44.0%	4.6%	
小・保 (n=195)	96.4%	3.1%	0.5%	74.9%	41.5%	10.3%	13.5%	27.2%	4.6%	
中・保 (n=623)	89.7%	7.9%	2.4%	41.4%	39.6%	13.5%	42.9%	47.4%	6.3%	
高・保 (n=934)	78.7%	19.1%	2.2%	16.0%	18.5%	11.3%	32.5%	45.8%	3.5%	

スマートフォンにおける保護者の取組の経年比較(平成26年度～平成29年度)



(注1) 青少年が「スマートフォン」を利用してインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。  
 (注2) 平成28年度・平成29年度は、質問文に添くフィルタリングに係る説明資料の内容に変更を加え、また、選択肢「機器に備わっている利用制限・閲覧制限機能等を使っている」を削ったため、「フィルタリングを使っている」の回答については、平成26年度・平成27年度の調査結果と直接比較できない。

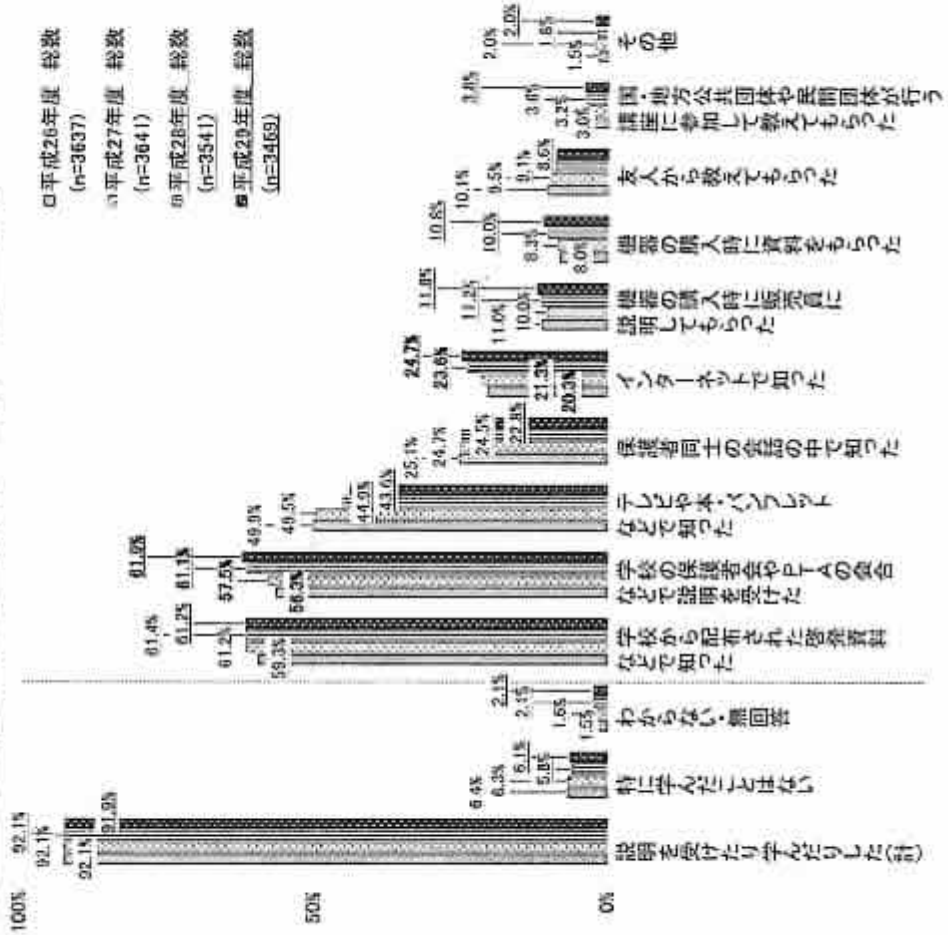
# ポイント10 保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験

- インターネットに関する啓発や学習の経験は、「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」(61.9%)、「学校から配布された啓発資料などで知った」(61.2%)が上位。
- 啓発や学習の経験を経年で比較すると、「学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた」、「インターネットで知った」が平成26年度から連続して増加傾向にあり、「テレビや本・パンフレットなどで知った」は減少傾向。

保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験(平成29年度)

	説明を受けたり学んだりした(計)	特に学んだことはない	わからない・無回答	学校から配布された啓発資料などで知った	学校の保護者会やPTAの会合などで説明を受けた	テレビや本・パンフレットなどで知った	保護者同士の会話の中で知った	インターネットで知った	説明の購入時に販売員に説明してもらった	機器の購入時に資料をもらった	友人から教えてもらった	国・地方公共団体や民間団体が行う講座に参加して教えてもらった	その他
総数 (n=3469)	91.9%	6.1%	2.1%	61.2%	61.9%	43.6%	22.8%	24.7%	11.8%	10.8%	8.6%	3.8%	2.0%
小・保 (n=1027)	89.9%	7.6%	2.5%	55.0%	52.1%	47.1%	25.0%	27.5%	8.2%	10.2%	9.6%	3.9%	2.2%
中・保 (n=1369)	92.5%	5.2%	2.3%	64.8%	66.0%	43.0%	25.8%	24.8%	11.7%	10.9%	9.6%	3.9%	2.0%
高・保 (n=1054)	93.0%	5.7%	1.3%	62.9%	66.3%	41.1%	17.1%	22.1%	15.6%	11.2%	6.3%	3.5%	1.8%

啓発や学習の経験の経年比較(平成26年度～平成29年度)



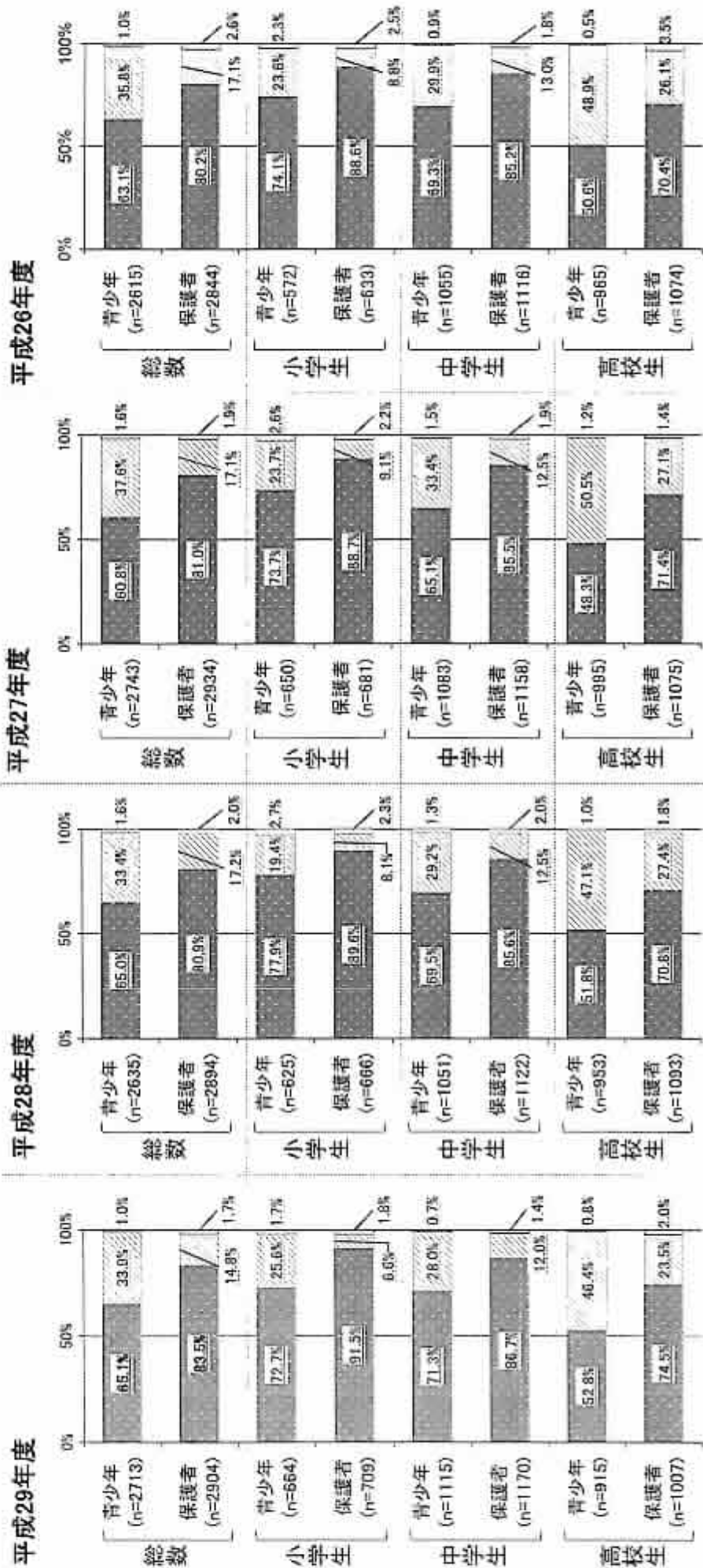
(注) 回答した保護者全員をベースに集計。

# ポイント11 家庭のルール

○ インターネットの利用に関する家庭のルールについて、「ルールを決めている(計)」との回答は、青少年の実態と保護者の認識とのギャップが18.4ポイントの差。学校種別では、高校生と保護者の間で21.7ポイント差とギャップが大きい。

## 青少年の実態と保護者の認識とのギャップ

■ ルールを決めている(計)    ▨ 特にルールを決めていない    □ わからない・無回答



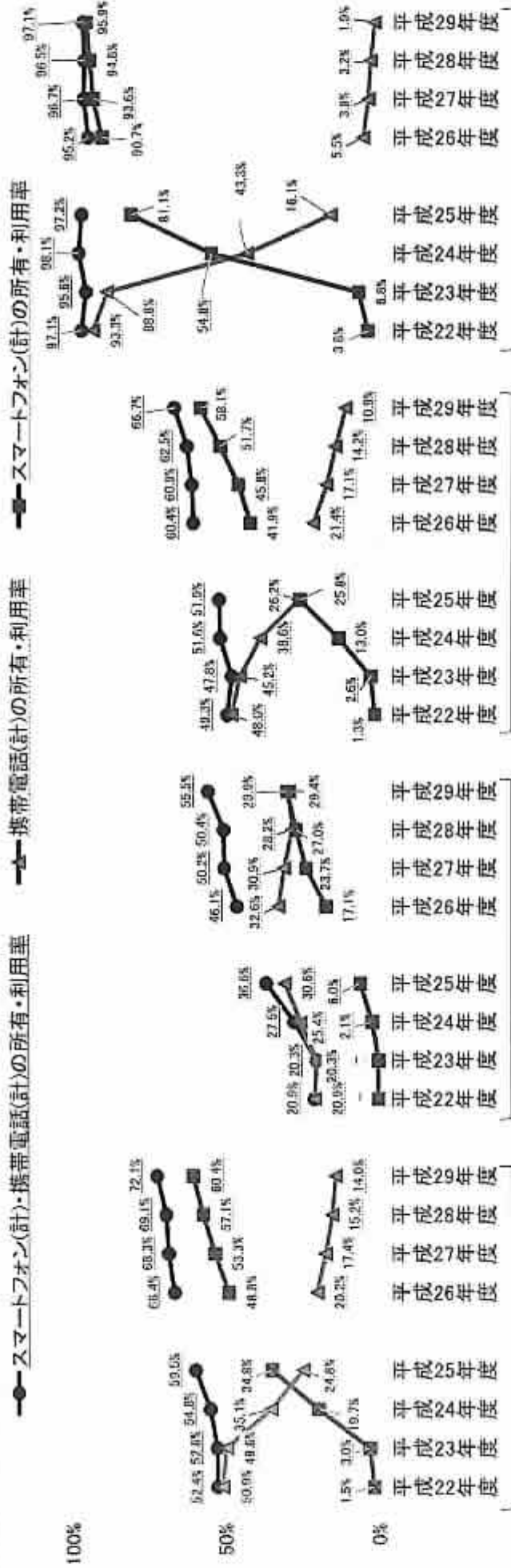
(注) 「いずれかの機器(15機器)」でインターネットを利用している回答した青少年及び、青少年が「いずれかの機器(15機器)」でインターネットを利用している回答した保護者をベースに集計。



# 参考資料 1 青少年のスマートフォン・携帯電話の所有・利用状況

- 携帯電話の利用が減り、スマートフォンの利用が進む。
- 小学生は携帯電話(計)の所有・利用率とスマートフォンの所有・利用率がほぼ同割合で推移。

青少年のスマートフォン・携帯電話の所有・利用状況(平成22年度～平成29年度)



(注1) 「青少年のスマートフォン・携帯電話の利用状況」の数値は、回答した青少年全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。

平成29年度：総数 (n=3288)	小学生 (n=1016)	中学生 (n=1309)	高校生 (n=942)	小学生 (n=1012)	中学生 (n=1279)	高校生 (n=987)
平成27年度：総数 (n=3442)	小学生 (n=1060)	中学生 (n=1349)	高校生 (n=1018)	小学生 (n=1080)	中学生 (n=1329)	高校生 (n=1007)
平成25年度：総数 (n=1817)	小学生 (n=604)	中学生 (n=699)	高校生 (n=509)	小学生 (n=669)	中学生 (n=721)	高校生 (n=467)
平成23年度：総数 (n=1969)	小学生 (n=656)	中学生 (n=734)	高校生 (n=570)	小学生 (n=431)	中学生 (n=540)	高校生 (n=342)

(注2) 平成26年度～平成29年度では、「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「いわゆる格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した青少年。「携帯電話(計)」は、「携帯電話」、「子供向け携帯電話」、「子供向け携帯電話」、「子供向けスマートフォン」、「子供向けスマートフォンのいずれかを持つ」と回答した青少年。「携帯電話(計)」は、「携帯電話」、「子供向け携帯電話」、「子供向けスマートフォン(計)」は、「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」を持っていると回答した青少年。「携帯電話(計)」は、「携帯電話」、「子供向け携帯電話」のいずれかを持っていると回答した青少年。

(注3) 平成22年度～平成25年度の調査では、「スマートフォン」及び「携帯電話」の「所有」について択一回答。平成26年度～平成29年度の調査では、「スマートフォン(4機種)」及び「携帯電話(2機種)」の「利用」について複数回答。平成26年度より調査方法等を変更したため、平成25年度以前の調査結果と直接比較できない。

(注4) 平成20年度～平成29年度は複数回答のため、「スマートフォン(計)」の所有・利用率と「携帯電話(計)」の所有・利用率の合計値は、「スマートフォン(計)・携帯電話(計)」の所有・利用率と一致しない。

